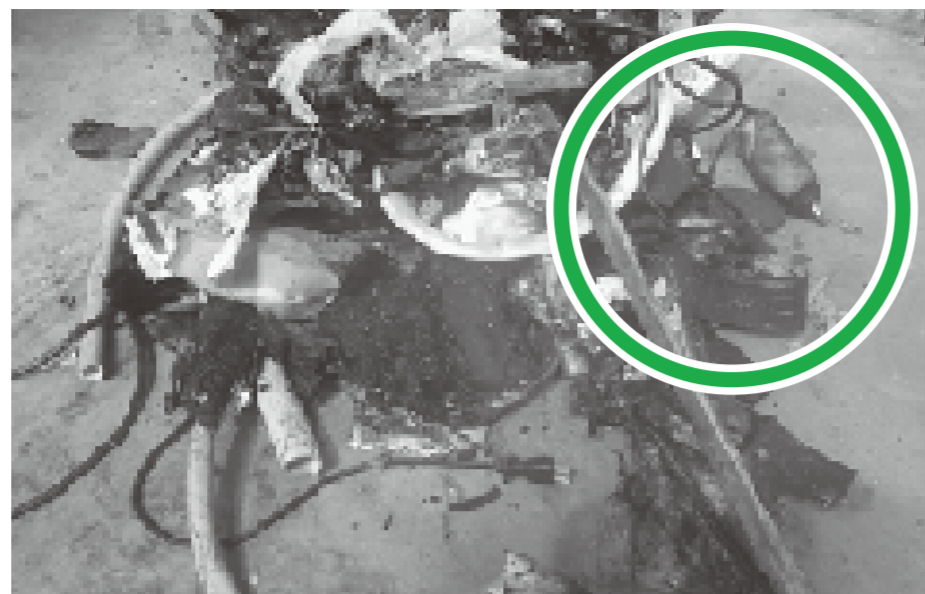


狛江市 ごみ半減新聞

K O M A E

Vol.45 平成24年11月

発行 狛江市建設環境部清掃課
〒201-0004 狛江市岩戸北1-1-11
狛江市ビン・缶リサイクルセンター内
☎03-3488-5300(直通)



平成24年8月6日の火災 ごみの中から見つかった発火物

平成24年度に入ってからの 火災発生状況

- 平成24年4月27日清掃工場内の不燃ごみピットで発生。
 - 平成24年8月6日清掃工場内の可燃ごみピットで発生。
 - 平成24年8月17日清掃工場内の不燃ごみピットで発生。
- ※以上3件の火災は早期に鎮火し、大事に至りませんでした。
※この他にも小規模なものが発生しています。

発火物は中身を使い切って、ビン・発火物の日にお出してください。

「1本くらいいいだろう」とか「面倒くさいから…」と、分別しなかった1本のスプレー缶が原因で、狛江市のみならず、稲城市・府中市・国立市のごみ処理ができなくなってしまう状況に発展することにもなりかねません。このような状況になれば、皆さんのお宅から収集することもできなくなってしまいます。「あれ?」とか「どっちだっけ?」と思ったときには、ごみリサイクルカレンダーを活用していただくか、清掃課にお問い合わせください。

8月17日(金)狛江市のごみを処理している清掃工場(クリーンセンター多摩川 稲城市大丸1528)内の不燃・粗大ごみ処理施設内において、処理中の不燃ごみから出火し、火災が発生しました。すぐに初期消火活動を行ったため早期に鎮火し、大事には至りませんでした。
現場検証の結果、出火元は狛江市から収集された不燃ごみと見られ、出火原因の調査が行なわれました。

狛江市内で収集されたごみの中から 火災が発生しました!

不燃ごみと発火物の分別の徹底をお願いします
これまでの火災発生状況を見ると、不燃ごみと粗大ごみに関係するものから火災が発生しております。調査の結果、不燃ごみピットで火災が発生した場合、混入していた発火物による可能性が非常に高くなっています。狛江市では、このような火災を想定して、不燃ごみと発火物の収集日を変えています。未だ分別が徹底されていないようです。発火物(スプレー缶・ライターなど)はビンと同じ日に収集しますので、必ず中身を使い切ってから、袋などには入れないでビンと同じコンテナに入れて出してください。みなさまのご協力をお願いします。

消火作業終了まで ごみ搬入がストップ

この火災により、クリーンセンター多摩川で処理している構成市(稲城市・府中市・国立市・狛江市)の全てのごみが、消火作業が終了するまでの間、搬入できなくなりました。

このような状況になると、以後の収集作業が行えなくなるばかりか、施設に甚大な被害が生じた場合は、長期間にわたってごみ収集処理が行えなくなってしまう。



平成24年8月17日の火災
不燃ごみの中から見つかった着火用ガスボンベ等

生ごみ処理機を購入された方へのアンケート結果について

狛江市では生ごみ処理機購入費の助成を行っています。平成22年度は17人、平成23年度は21人の方がこの助成制度を利用して生ごみ処理機を購入しました。

その方々を対象に平成24年6月にアンケートを実施し、29人の方の回答がありました。アンケート結果については下記のとおりとなりましたのでお知らせします。

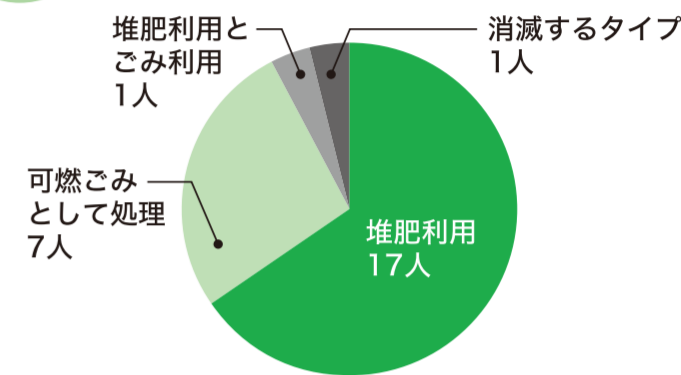


現在、生ごみ処理機を使用していますか?

はい→26人
いいえ→3人

【いいえの理由】
生ごみ処理後の処分先がないため。生ごみが思ったほど出ない。節電のため。

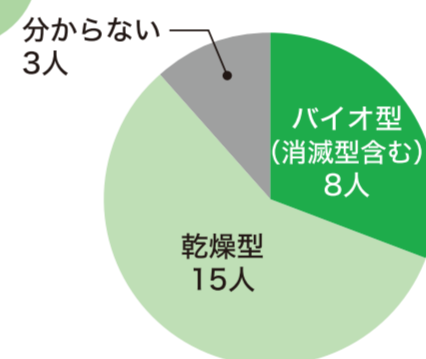
処理後に残ったものは どうしていますか?



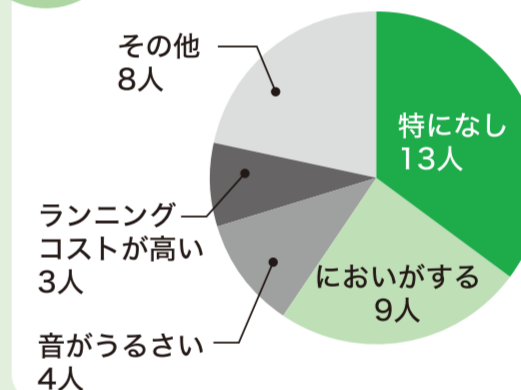
使用している時期は?

一年中→22人
ある時期のみ→4人

お使いのタイプは?



使用していて困ったことは ありますか?(複数回答)



ご意見

- ・ハンドルを回さないとならないので、結構大変です。でも確実にごみは減ります。
- ・プランターの肥料として使っている。植物の育ち方がとても良い。
- ・生ごみが可燃物からなくなると、ごみの量がとても少なくなり、良いことだと思うので、補助金をもっとあればいいと思います。
- ・助成金が生ごみ処理機の購入を後押ししてくれました。今後も続けてほしいと思います。
- ・コストは高かったが、ごみの量が減らせて良かった。

生ごみ処理機等購入費の助成制度があります。

電動式生ごみ処理機の場合

購入価格の1/2(100円未満切り捨て)を助成し、**上限は18,000円**です。
1世帯に1基までです。

非電動式の生ごみ処理機の場合

購入価格の1/2(100円未満切り捨て)を助成し、**上限は3,000円**です。
1世帯に1基までです。

コンポストの場合

上限は3,000円です。
1世帯に2基までです。

■助成を受けるためには

※ご不明な点は、清掃課にお問い合わせください。(03-3488-5300)

- 1 清掃課で購入前に申請してください。
- 2 申請してから30日以内に購入してください。
- 3 必要書類をお持ちの上、清掃課で手続きをしてください。

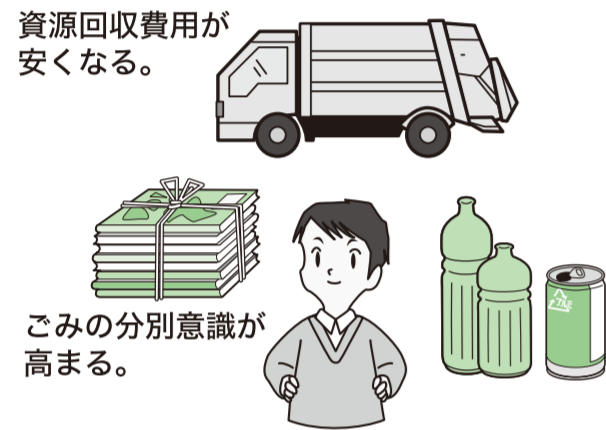


集団回収に参加できる団体	・ 狛江市内の自治会や町会など営利を目的としない団体 ・ 世帯数がおおむね20世帯以上
集団回収で集められるもの	・ 新聞・雑誌・ダンボール等の古紙 ・ 古布・ビン・ペットボトル・缶・金属
奨励金	10円/kg

集団回収のメリットは

市

資源回収費用が安くなる。
ごみの分別意識が高まる。



活動団体

活動資金が入る。
地域の絆が深まる。



集団回収をご存知ですか？

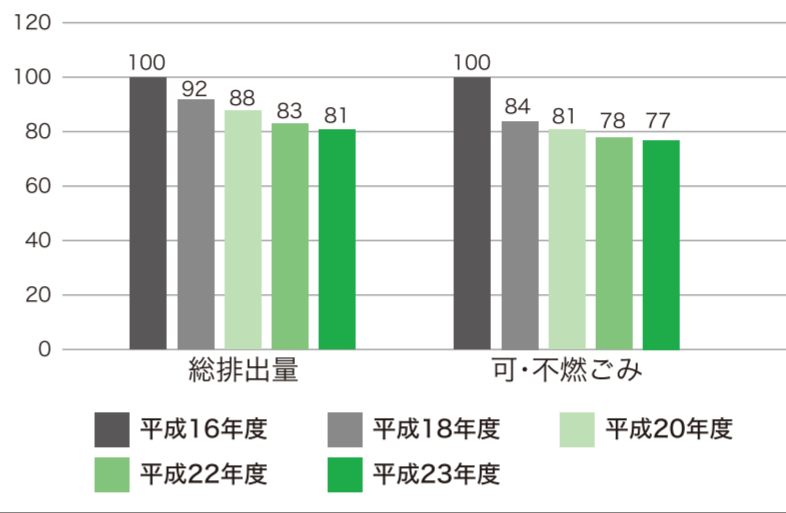
市に団体で登録し、資源物を出すと、収集した量に応じて市から奨励金が支払われます。登録できる団体は、狛江市内の自治会や町会など、営利を目的としないおおむね20世帯以上の団体です。現在約100団体登録しており、奨励金をお支払いし、団体の活動資金としてご利用いただいています。

新しく始めてみたい団体は清掃課までお問い合わせください。

(単位:t)

	総排出量	可・不燃ごみ
平成16年度	26,014	16,804
平成18年度	23,911	14,081
平成20年度	22,904	13,535
平成22年度	21,477	13,078
平成23年度	21,157	12,937

ごみ収集量の推移 (平成16年度を100とする)



市民のみなさまのご理解とご協力により、平成17年10月のごみ有料化以降は着実に減量を達成しています。しかし、前年に比べると、不燃ごみ・粗大ごみの収集量が少しずつ増える傾向にあります。今後もごみの減量と分別排出にみなさまのご協力をお願いします。

また、ごみの減量だけでなく、総資源化率を維持しながら、資源物も減量できています。これは、市民のみなさまの日頃のごみになるものを減らす取り組みへの協力により、家庭に入ってくる資源物の量が減ってきていることが数字として表れています。資源物を再資源化するためには多くのエネルギーと多額の費用を要します。

今後も、ごみの減量とともに資源物の減量にもご協力いただきますようお願いいたします。

平成23年度もごみを減らすごみができました。今後ともご協力をお願いします。

Refuse (リフューズ)

発生回避

ごみになるものを買わない、断ること。
・マイバックを持参してレジ袋を断る。

Reduce (リデュース)

排出抑制

ごみの量を減らすこと。
・詰め替え製品を利用する。
・長く使える製品を選んで購入する。

Reuse (リユース)

再利用

使ったものを廃棄せずに、そのまま使うこと。
・フリーマーケットの活用。

Recycle (リサイクル)

再生利用

使ったものを廃棄せずに再び資源として利用すること。
・古紙や使用済みペットボトル等から作られる再生品の利用

「4R」には優先順位があります。4Rの中で、環境面に負担がかかり多額の費用を要するリサイクルについては他の3Rと横並びではなく、一番順位の低い4番目の手段として、できるだけリサイクル以外のRを優先しリサイクルには頼らないことが重要です。

「4R」には優先順位があります。4Rの中で、環境面に負担がかかり多額の費用を要するリサイクルについては他の3Rと横並びではなく、一番順位の低い4番目の手段として、できるだけリサイクル以外のRを優先しリサイクルには頼らないことが重要です。

ごみを減らすための有効手段として、4R運動に取り組みましょう。

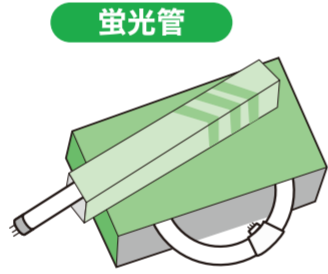
私たちが生活をしていく上で、ごみは必ず付いてまわる問題です。ごみを減らすためには、私たち一人ひとりがごみに対する意識を持つことが大切です。一度、普段の生活を振り返っていただき、ごみを減らす4R運動に取り組みましょう。

有害ごみの分別にご協力ください。

蛍光灯の出し方

破損防止のため、購入したときの箱に入れ(箱がない場合は袋に入れて)「蛍光灯」と表示して出してください。

割れてしまった蛍光灯は、中身が見える袋に入れて「割れた蛍光灯」と表示して出してください。



割れた蛍光灯

乾電池の出し方

中身が見える袋に入れて「乾電池」と表示して出してください。

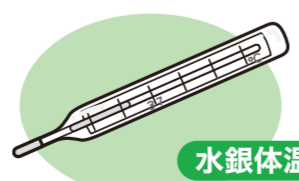
※充電式電池は市で収集しませんので、販売店の回収ボックスに入れてください。



乾電池

その他、水銀を含んだもの

中身が見える袋に入れて、品物の種類を表示して出してください。



水銀体温計

年末の片付けはお早めに！

年末は粗大ごみの申し込みが多くあります。年内の回収を希望される場合は12月14日(金)までにお申し込みください。一度に申し込める点数は7点までとなります。また、年内に出すごみは、ごみリサイクルカレンダーを確認して、計画的にお申し込みをお願いします。

多摩川衛生組合での災害廃棄物の受け入れについて

10月1日号市広報でもお知らせしました東日本大震災により被災した宮城県女川町の災害廃棄物の受け入れが、10月2日から始まりました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した女川町の災害廃棄物の処理については、1日も早い復旧・復興を支援するために、平成23年11月に東京都、宮城県、女川町、東京都区長会、東京都市長会との間において清掃工場での災害廃棄物の受け入れ、円滑に処理することを目的とした基本合意を締結しました。

多摩川地域においては、7施設での受け入れ準備を進め、クリンセンター多摩川におきまして平成24年10月2日から12月まで、災害廃棄物の受け入れを始めています。

災害廃棄物の受け入れにあたっては、安全性を十分に確認しながら進めておりますので、今後も市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

年末・年始のごみ収集は、狛江市ごみリサイクルカレンダーのとおりです。可燃ごみの収集日が、月・木曜日(和泉本町全域、中和泉二・五丁目、岩戸北一・三丁目、東野川全域、西野川全域)は、平成25年1月5日(土)に、可燃ごみの収集があります。朝8時までにお出しください。

植木せん定枝の申し込みは、12月27日(木)午後5時までに受付けた分は、28日(金)に収集します。28日に受付けた分は、平成25年1月8日(火)の収集となります。

なお、安全面については、放射能測定結果等を随時、多摩川衛生組合のホームページ(<http://www4.ocn.ne.jp/~tamagawa/>)でお知らせしてまいります。

【受付期間】10月2日から12月まで
【受け入れ量】900トン(限度)1日10トン()